

■研究の全体構想

[学校教育目標] 豊かな心を持ち、自らを切り拓く子ども
よく考えやりぬく子

[研究主題]

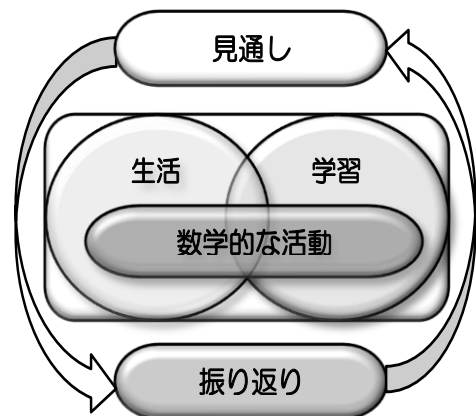
数学的に考える資質・能力の育成

— 数学的な見方・考え方を働かせる授業の構成 —

[研究内容]

- 1 単元構造図の作成により、数学的な見方・考え方の関連を明確にする。
- 2 ねらいに沿った授業構成の中に以下の活動を設定し、数学的な資質・能力を高める。

- ① 見通す活動 … 既習と関連付けて考え、見通しをもつ場を設定
- ② 学び合う活動…数学的な表現を関連付けながら、学び合う場を設定
- ③ 振り返る活動…授業過程で使った数学的な見方・考え方の確認・価値付けを行う



学習の下支え
[授業づくり]

学び合いの
スタイル
教師の役割

論証の力
交流の
ポイント

ノート指導
(思考の高まりの
記録)

資質・能力を高め
る協力指導

[学習の基礎]

【家庭学習】

- ・学習習慣の確立
- ・学習内容の向上

【学習ルール】

- ・基本的学習ルール
- ・授業への参加の仕方

[児童の実態]

- ・基礎的・基本的な学習内容の定着は図られている。
- ・複雑な情報を正しく解釈することが苦手である。
- ・理由を記述したり、自分の考えを分かりやすく説明したりすることが苦手である。

[今日的課題]

- ・予測できない社会の変化に主体的に向き合い対応するための「生きる力」の育成
- ・各教科における資質・能力の育成
- ・主体的・対話的で深い学びの実現